

経営比較分析表（令和5年度決算）

関谷資料1-1

岐阜県 瑞穂市

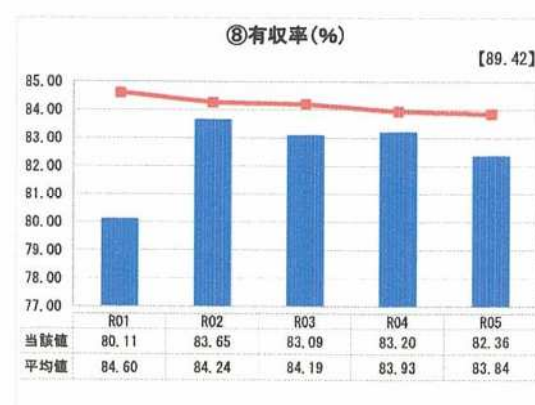
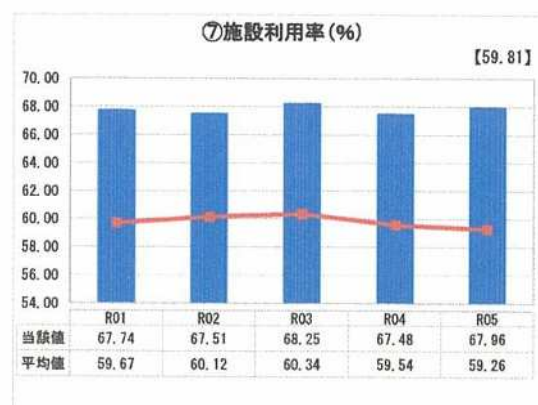
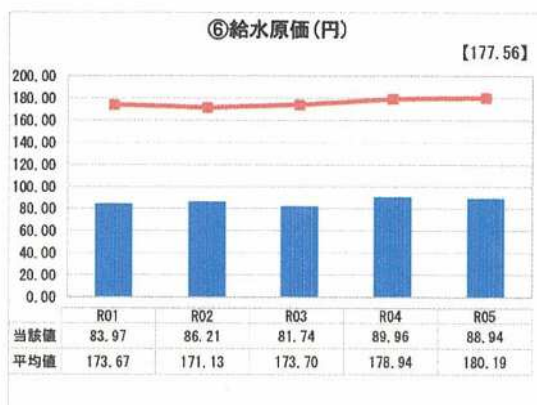
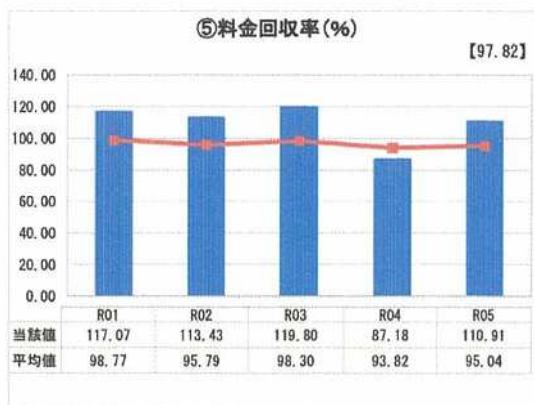
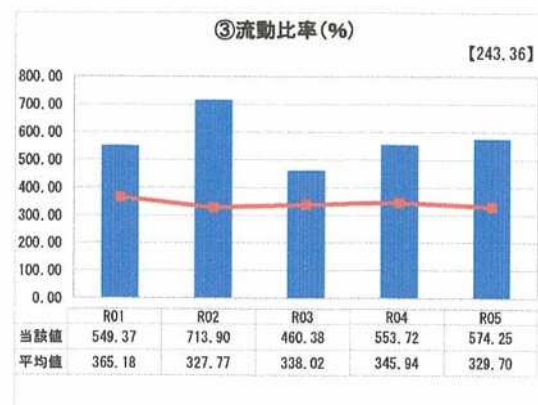
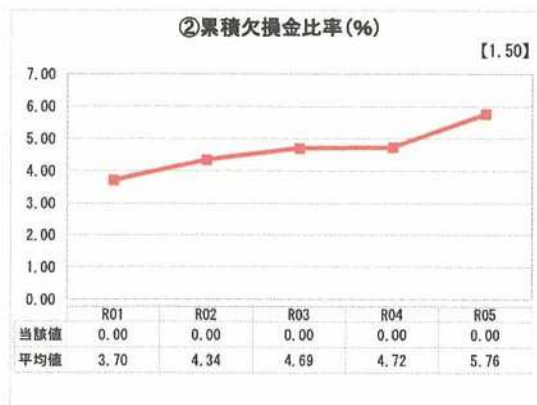
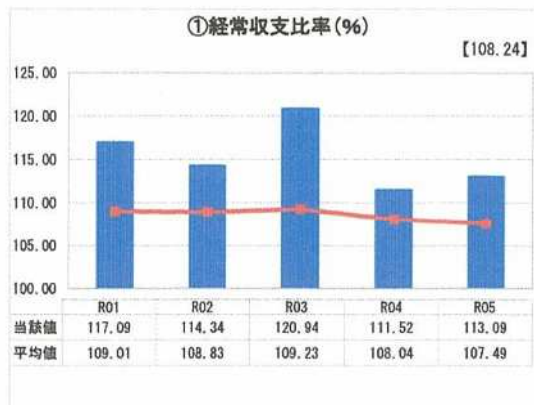
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	94.68	87.86	1,925	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,329	28.19	1,998.19
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
49,440	28.52	1,733.52

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

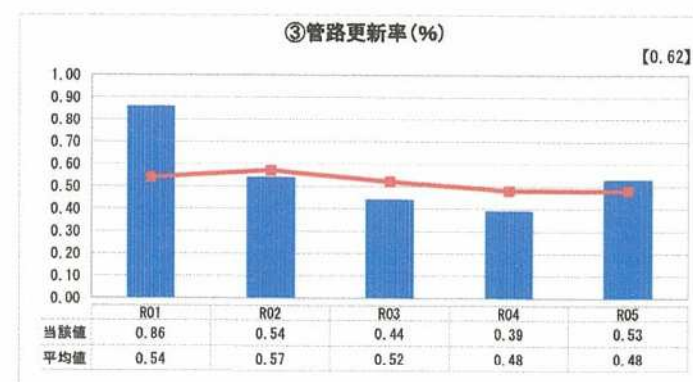
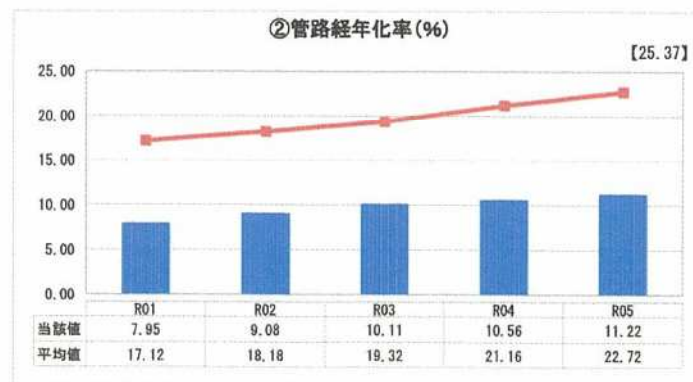
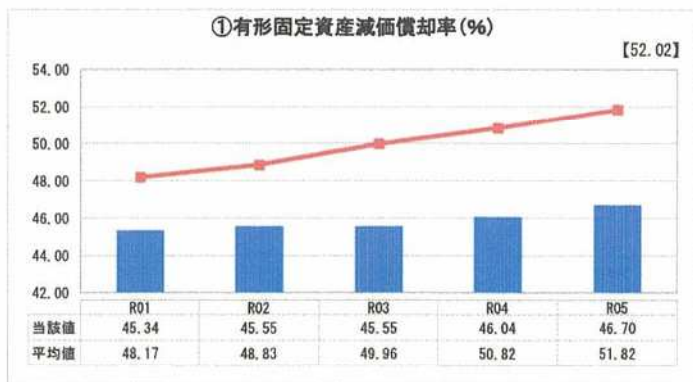
1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は、100%以上であり収支は黒字になっています。
 「②累積欠損金比率」は0%であり損失のない健全経営が維持されています。
 「③流動比率」は、全国平均を比較的大きく上回っており良好な状態ですが、建設改良費等に充てる企業債や未払金などの流動負債が増加すると流動比率は低下します。
 「④企業債残高対給水収益比率」は、類似団体に比べ低い水準にありますが、水道施設の更新などによる企業債の増加が見込まれ、給水収益と企業債残高のバランスに留意する必要があります。
 「⑤料金回収率」は、前年度は、コロナ禍における原油価格・物価高騰に伴う経済的負担の軽減対策として、6か月分の水道基本料金免除を実施した影響で供給単価が下がったため低下しましたが、今年度は実施しなかったため供給単価が上がったため上昇しました。
 「⑦施設利用率」は、類似団体平均値比べ高くなっています。給水人口の増加に伴う1日平均配水量が増える傾向にあり、施設の稼働率は良好な状態と言えます。
 「⑧有収率」は、類似団体に比べ低くなっています。漏水調査、老朽管の更新、修理などを継続的に実施し有収率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、全国、類似団体に比べ低くなっています。
 「②管路経年化率」は、類似団体と比べて低い状態にあるものの、これは耐用年数(40年)に達している管路がまだ少ないため、今後耐用年数に達し更新時期を迎える管路が増加するため、計画的かつ効率的な更新に取り組む必要があります。
 「③管路更新率」は、0.53と例年より若干高い水準です。「②管路経年化率」は増加しており、管路の老朽化が今後も進んでいくことから、計画的かつ効率的な更新を実施する必要があります。

2. 老朽化の状況



全体総括

瑞穂市の水道事業は、経営の健全性及び効率性では良好な状態にありますが、今後見込まれる人口の減少、節水意識の向上などにより給水収益が減少することが想定される中で、老朽施設の更新需要に対応していくには、水道料金や施設規模の見直しなどの取り組みを更に進める必要があります。経営戦略や水道施設更新計画を活用し、長期的な視点に基づく経営の健全化に努めます。

赤の下線は関谷が引く

(2026.1.30上下水道事業審議会資料より)

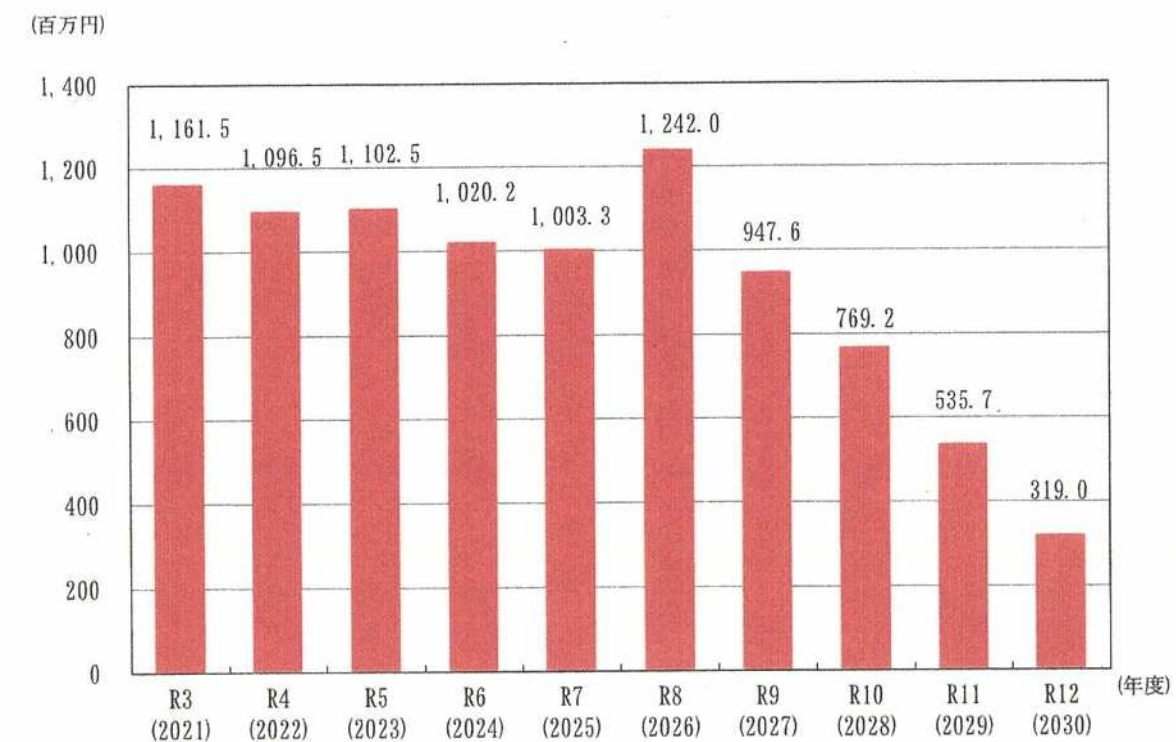
c) 資金残高

資本金収入が資本金支出に対して不足する額は、資金（内部留保資金）を取崩して補填することになります。

資金残高の推移を見ると、計画期間終了年度である、令和12(2030)年度には、約6.0億円まで減少し、令和3(2021)年度の資金残高約9.5億円から9年間で約3.5億円（約4割）程度減少する見込みとなります。

計画期間内において、新たな財源確保策の検討を進めるとともに、持続可能な事業経営の実現に向け、投資と財源のバランスを図ります。

後期計画の資金残高をみると令和12(2030)年度には、約3.2億円まで減少し、令和8(2026)年度の資金残高約12.4億円から4年間で約9.2億円（約8割）程度減少する見込みとなります。

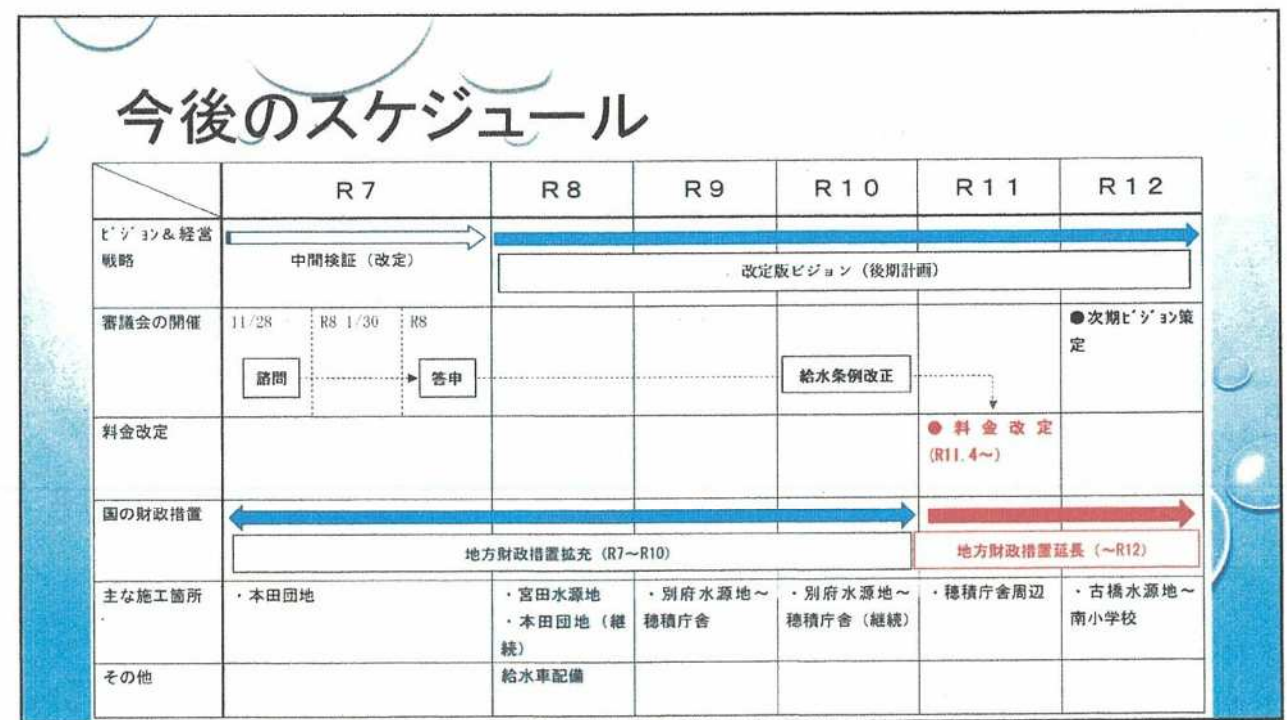
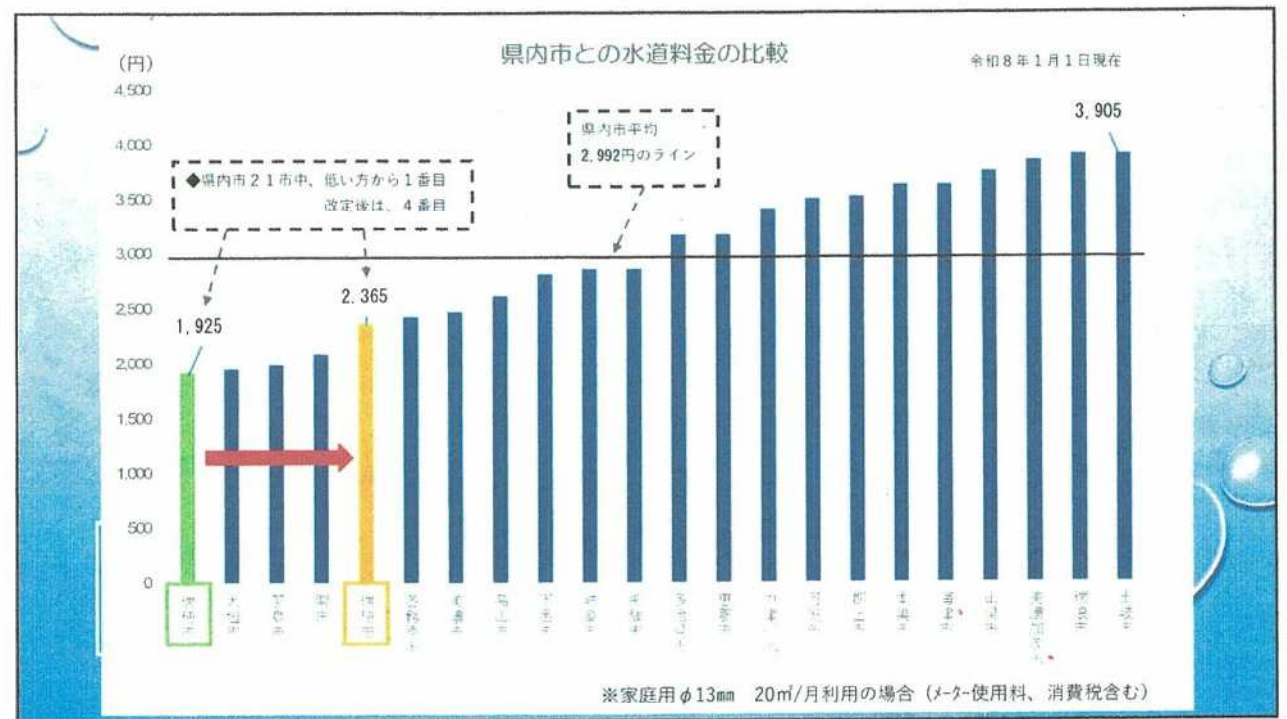


※図のR3～R6は実績額、R7～R12は見込額

図 7.6 資金残高の見通し

年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
金額	954.7	877.7	809.3	750.4	696.2	652.0	618.7	597.6	590.0	600.2
見込額	1,161.5	1,096.5	1,102.5	1,020.2	1,003.3	1,242.0	947.6	769.2	535.7	319.0

※表中（金額）の上段は当初見込額、下段は実績額（R3～R6）・変更見込額（R7～R12）



現行の料金体系
税抜き

区分		1 か月	2 か月
基本料金	基本水量	10m ³ 以下	20m ³ 以下
	金額	800	1,600
超過料金 (基本水量を超えた 1 m ³ につき)	90円	1~20m ³	1~40m ³
	100円	21~50m ³	41~100m ³
	110円	51m ³ ~	101m ³ ~



改定案 1

基本料を100円、超過料金を1m³当たり10円増額
税抜き

		1 か月	2 か月
基本水量	10m ³ 以下		
	金額	900	1,800
超過料金	100円	1~20m ³	1~40m ³
	110円	21~50m ³	41~100m ³
	120円	51m ³ ~	101m ³ ~

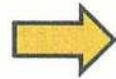
税込み

口径13mmで2か月40m³使用の場合
 $(1,800円 + 20m^3 \times 100円) \times 1.1 = 4,180円$
 $50円 \times 2か月 \times 1.1 = 110円$
合計4,290円 (440円増額←3,850円) 11%UP

↓
約5,800万円 (税抜き) の収入増加

現行の料金体系
税抜き

区分		1 か月	2 か月
基本料金	基本水量	10m ³ 以下	20m ³ 以下
	金額	800	1,600
超過料金 (基本水量を超えた 1 m ³ につき)	90円	1~20m ³	1~40m ³
	100円	21~50m ³	41~100m ³
	110円	51m ³ ~	101m ³ ~



改定案 2

基本料を200円、超過料金を1m³当たり20円増額
税抜き

		1 か月	2 か月
基本水量	10m ³ 以下		
	金額	1,000	2,000
超過料金	110円	1~20m ³	1~40m ³
	120円	21~50m ³	41~100m ³
	130円	51m ³ ~	101m ³ ~

税込み

口径13mmで2か月40m³使用の場合
 $(2,000円 + 20m^3 \times 110円) \times 1.1 = 4,620円$
 $50円 \times 2か月 \times 1.1 = 110円$
合計4,730円 (880円増額←3,850円) 23%UP

↓
約1億2,300万円 (税抜き) の収入増加

現行の料金体系
税抜き

区分		1 か月	2 か月
基本料金	基本水量	10m ³ 以下	20m ³ 以下
	金額	800	1,600
超過料金 (基本水量を超えた 1 m ³ につき)	90円	1~20m ³	1~40m ³
	100円	21~50m ³	41~100m ³
	110円	51m ³ ~	101m ³ ~



改定案 3

基本料を300円、超過料金を1m³当たり30円増額
税抜き

		1 か月	2 か月
基本水量	10m ³ 以下		
	金額	1,100	2,200
超過料金	120円	1~20m ³	1~40m ³
	130円	21~50m ³	41~100m ³
	140円	51m ³ ~	101m ³ ~

税込み

口径13mmで2か月40m³使用の場合
 $(2,200円 + 20m^3 \times 120円) \times 1.1 = 5,060円$
 $50円 \times 2か月 \times 1.1 = 110円$
合計5,170円 (1,320円増額←3,850円) 34%UP

↓
約1億7,000万円 (税抜き) の収入増加